

田辺三菱製薬株式会社



田辺三菱製薬

2018年度第1四半期 決算説明会

(2018年4月1日～2018年6月30日)

2018年7月30日
取締役 常務執行役員
田原 永三

2018年度第1四半期 決算概要

2018年度第1四半期 決算概要

ラジカヴァが売上に寄与したものの、薬価改定の影響による国内医療用医薬品の減収、ロイヤリティ収入の減少およびジェネリック事業譲渡の影響により、売上収益は減収
 研究開発費の増加により、コア営業利益は減益

	2018年度 第1四半期		2017年度 第1四半期		増減		上期予想※	進捗率
	億円	億円	億円	%	億円	%		
売上収益	1,053	1,077	△23	△2.2	2,100	50.2		
（うち海外売上収益）	311	256	+55	+21.7	642	48.5		
海外売上比率	29.6%	23.8%			30.6%			
売上原価	423	425	△2	△0.5	840	50.4		
売上原価率	40.2%	39.5%			40.0%			
売上総利益	630	651	△21	△3.3	1,260	50.0		
コア営業利益	193	219	△26	△12.2	300	64.3		
営業利益	193	210	△17	△8.3	285	67.7		
四半期利益(親会社帰属)	139	169	△30	△17.8	195	71.6		

為替(\$)(期中平均)

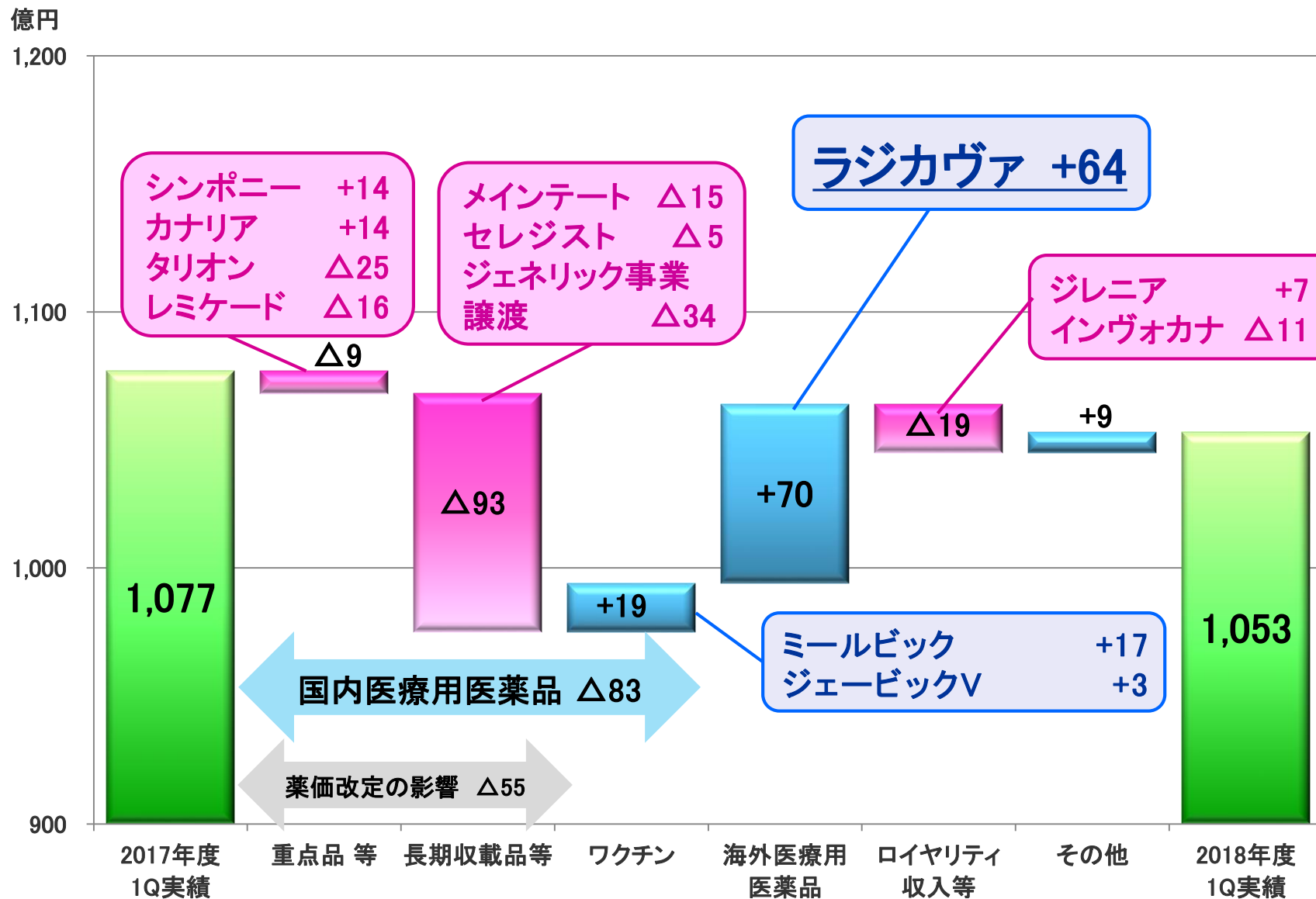
109.53円

111.42円

105.00円

※上期予想:2017年度決算発表時(2018年5月9日)公表

売上収益の増減



売上原価・販管費・コア営業利益

薬価改定の影響等により、売上原価率は上昇

後期開発ステージの進展等により、研究開発費が増加し、コア営業利益は減益

	2018年度 第1四半期	2017年度 第1四半期	増減		上期予想※	進捗率
	億円	億円	億円	%	億円	%
売上収益	1,053	1,077	△23	△2.2	2,100	50.2
売上原価	423	425	△2	△0.5	840	50.4
売上原価率	40.2%	39.5%			40.0%	
売上総利益	630	651	△21	△3.3	1,260	50.0
販管費	231	244	△12	△5.0	500	46.4
研究開発費	196	180	+15	+8.6	445	44.2
製品に係る無形資産償却費	7	5	+2	+39.3	15	48.9
その他損益*	△1	△1	△0	-	-	-
コア営業利益	193	219	△26	△12.2	300	64.3

* 費用・損失の場合に△と表示

※上期予想:2017年度決算発表時(2018年5月9日)公表

	2018年度 第1四半期	2017年度 第1四半期	増減		上期予想※	進捗率
	億円	億円	億円	%	億円	%
コア営業利益	193	219	△26	△12.2	300	64.3
非経常項目*	—	△9	+9	—	△15	—
営業利益	193	210	△17	△8.3	285	67.7
金融収益	4	10	△5	△52.9	—	—
金融費用	0	0	△0	△37.9	—	—
四半期利益(親会社帰属)	139	169	△30	△17.8	195	71.6

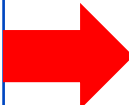

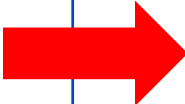

* 費用・損失の場合に△と表示

※上期予想:2017年度決算発表時(2018年5月9日)公表



開発パイプラインの進捗

2017年度決算発表以降の進捗状況

2018年7月27日現在

治験コード/ 製品名 (一般名)	機序 (予定適応症)	地域	P1	P2	P3	申請
MCI-186/ ラジカヴァ (エダラボン)	フリーラジカル消去剤 (筋萎縮性側索硬化症)	欧州				
MP-214 (カリプラジン塩酸塩)	ドパミンD3/D2受容体パーシャル アゴニスト (統合失調症)	シンガポール				
MT-7117	皮膚科用剤 等 (赤芽球性プロトポルフィリン症)	米国				
MT-5625	植物由来VLPワクチン (ロタウイルス胃腸炎の予防)					

ニューロダーム社 パイプラインの変更点

治験コード (一般名)	機序 (予定適応症)	地域	P1	P2	P3	申請
ND0612 (レボドパ / カルビドパ)	持続皮下注投与ポンプ / パッチ製剤 (パーキンソン病)	米国、欧州			開発計画を 当局と相談中	
ND0801 (ニコチン / オピプラモール)	経皮剤 (中枢神経系疾患に伴う認知障害)	イスラエル			開発中止	

* ND0612は、当初計画「2018年度に米欧同時申請、2019年度に発売」に関して、開発スケジュールの見直しを開始した。現在、当局との相談含め、精査中である。

ロイヤリティ収入への影響

ジレニア(ノバルティス)

当社は、米国の物質特許満了後(2019年8月)も、ジレニアの売上に応じて一定の期間および水準でロイヤリティ収入が継続する契約をノバルティスと締結しています。なお、物質特許満了後は、ロイヤリティ率は減少します。

背景

本年7月に、米特許商標庁の特許公判審判部(PTAB)から、米国におけるノバルティスが有するジレニアの用法用量特許を支持する判断が発表されています。

導出品の状況

インヴォカナ(ヤンセン(JNJ))

- ・CANVAS試験における、心血管イベントリスク低減の追加適応は、本年10月に米当局審査終了の見込み。
- ・CREDESCENCE試験の中間解析での良好な結果を受け、早期終了をJNJが発表した(本年7月)。JNJの計画では、2019年前半に、米国の承認申請を予定している。



*1 カナグリフロジンの2型糖尿病患者における脳・心血管イベント試験

*2 カナグリフロジンの糖尿病性腎症の適応取得のためのグローバル試験

Open Up the Future

医療の未来を切り拓く

独自の価値を一番乗りでお届けする、
スピード感のある企業へ



田辺三菱製薬

補足資料



売上収益の内訳(第1四半期)

	2018年度 第1四半期	2017年度 第1四半期	増減		上期予想※	進捗率
	億円	億円	億円	%	億円	%
売上収益	1,053	1,077	△23	△2.2	2,100	50.2
(うち海外売上収益)	311	256	+55	+21.7	642	48.5
国内医療用医薬品	716	799	△83	△10.4	1,412	50.7
海外医療用医薬品	129	59	+70	+118.1	292	44.3
ロイヤリティ収入等	185	204	△19	△9.6	354	52.2
一般用医薬品	12	11	+0	+3.8	23	50.5
その他	10	1	+8	+537.3	16	62.2

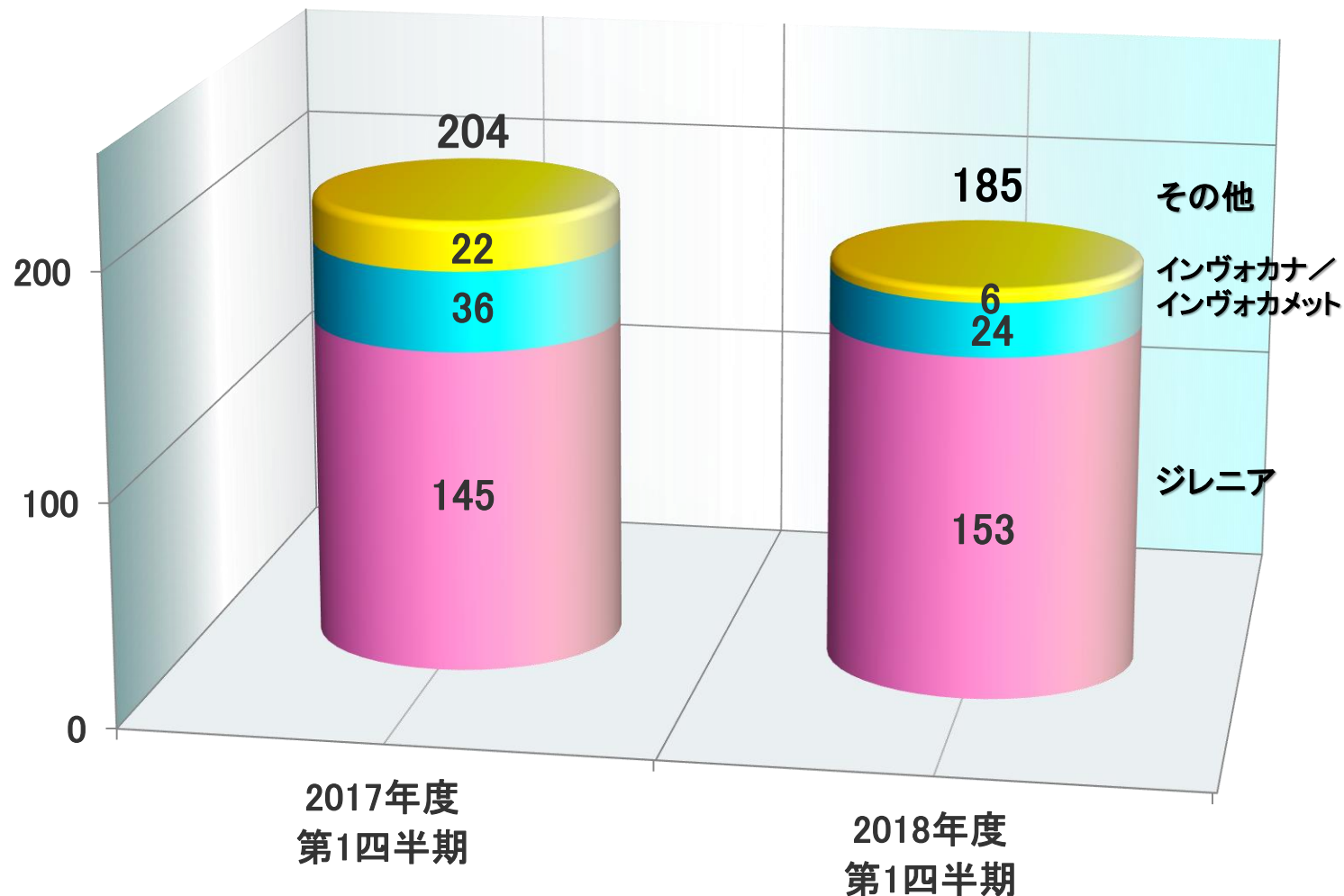
※上期予想:2017年度決算発表時(2018年5月9日)公表

国内医療用医薬品 重点品売上収益

	2018年度 第1四半期	2017年度 第1四半期	増減		上期予想※	進捗率
	億円	億円	億円	%	億円	%
レミケード	151	168	△16	△9.9	284	53.2
シンポニー	90	75	+14	+19.5	172	52.2
テネリア	44	46	△1	△4.2	84	53.3
ステラーラ*	2	-	+2	-	49	4.2
レクサプロ	34	31	+2	+9.2	64	52.9
カナグル	14	14	+0	+2.8	36	40.9
タリオン	14	40	△25	△64.3	35	40.6
ルパフィン	1	-	+1	-	12	13.9
イムセラ	11	12	△1	△11.4	25	45.1
カナリア	14	-	+14	-	21	65.5
重点品合計	379	389	△9	△2.6	787	48.2
テトラビック	22	23	△1	△5.9	45	48.9
ミールビック	33	15	+17	+110.3	29	114.2
水痘ワクチン	14	14	△0	△2.5	28	50.0
ジェービックV	16	13	+3	+27.0	23	70.4
インフルエンザワクチン	△1	△0	△0	-	13	-
ワクチン合計	88	68	+19	+29.1	143	61.5
重点品・ワクチン合計	467	457	+9	+2.2	930	50.2

* 当社とヤンセンファーマは、ステラーラの流通を当社に変更する販売枠組み変更契約を締結しました。(締結日:2018年6月27日)
ステラーラの売上予想は、上期 49億円、通期 151億円となっております。(5月9日公表の2018年度業績予想に織り込み済み)

億円

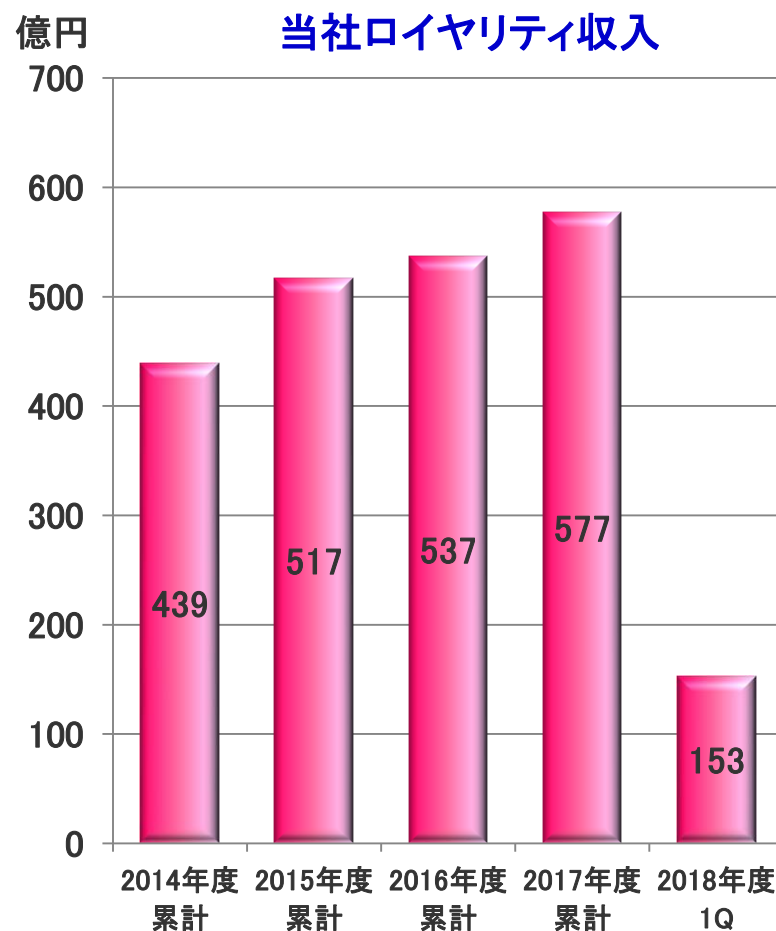


為替(\$)(期中平均)

111.42円

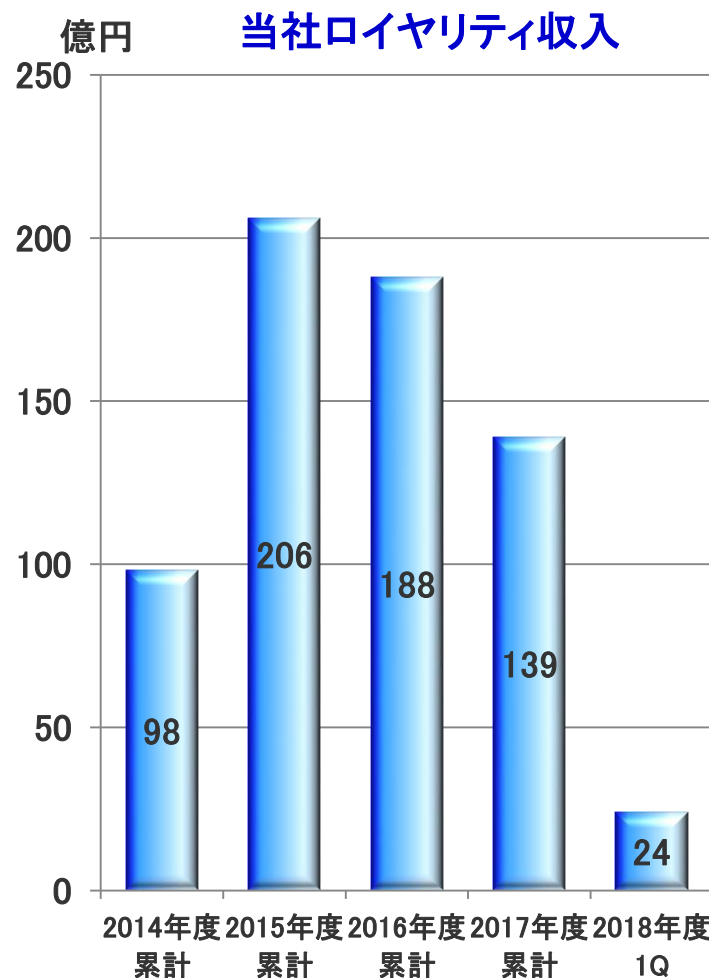
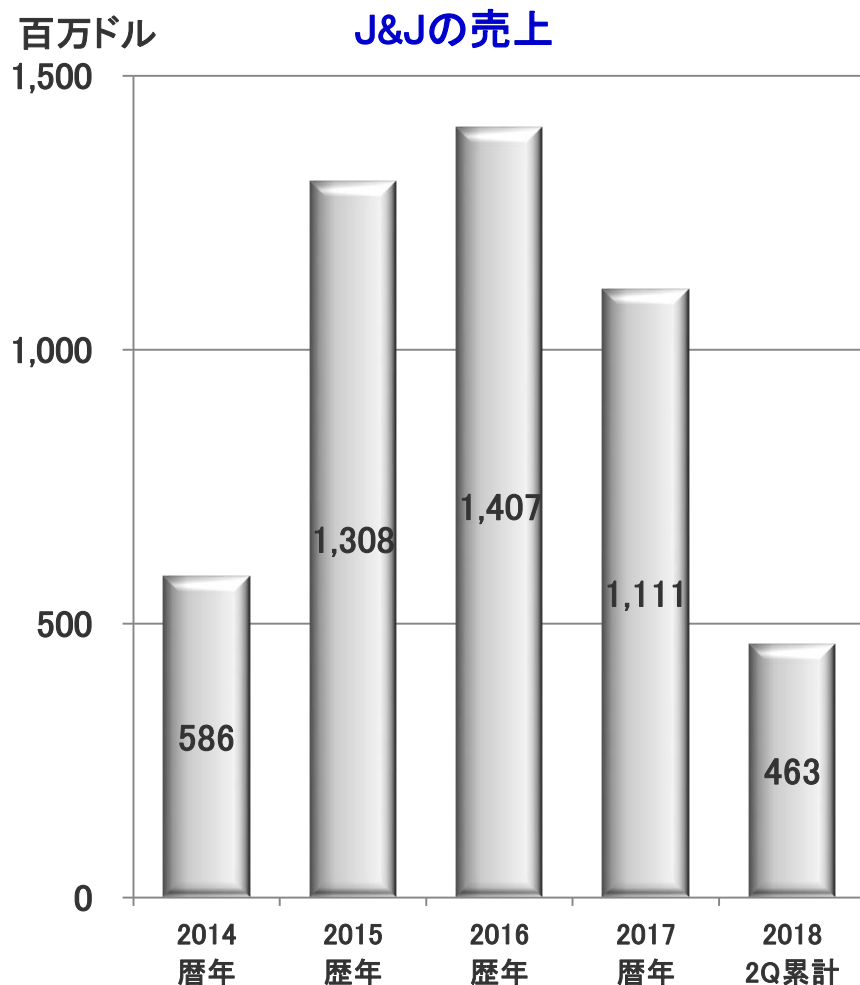
109.53円

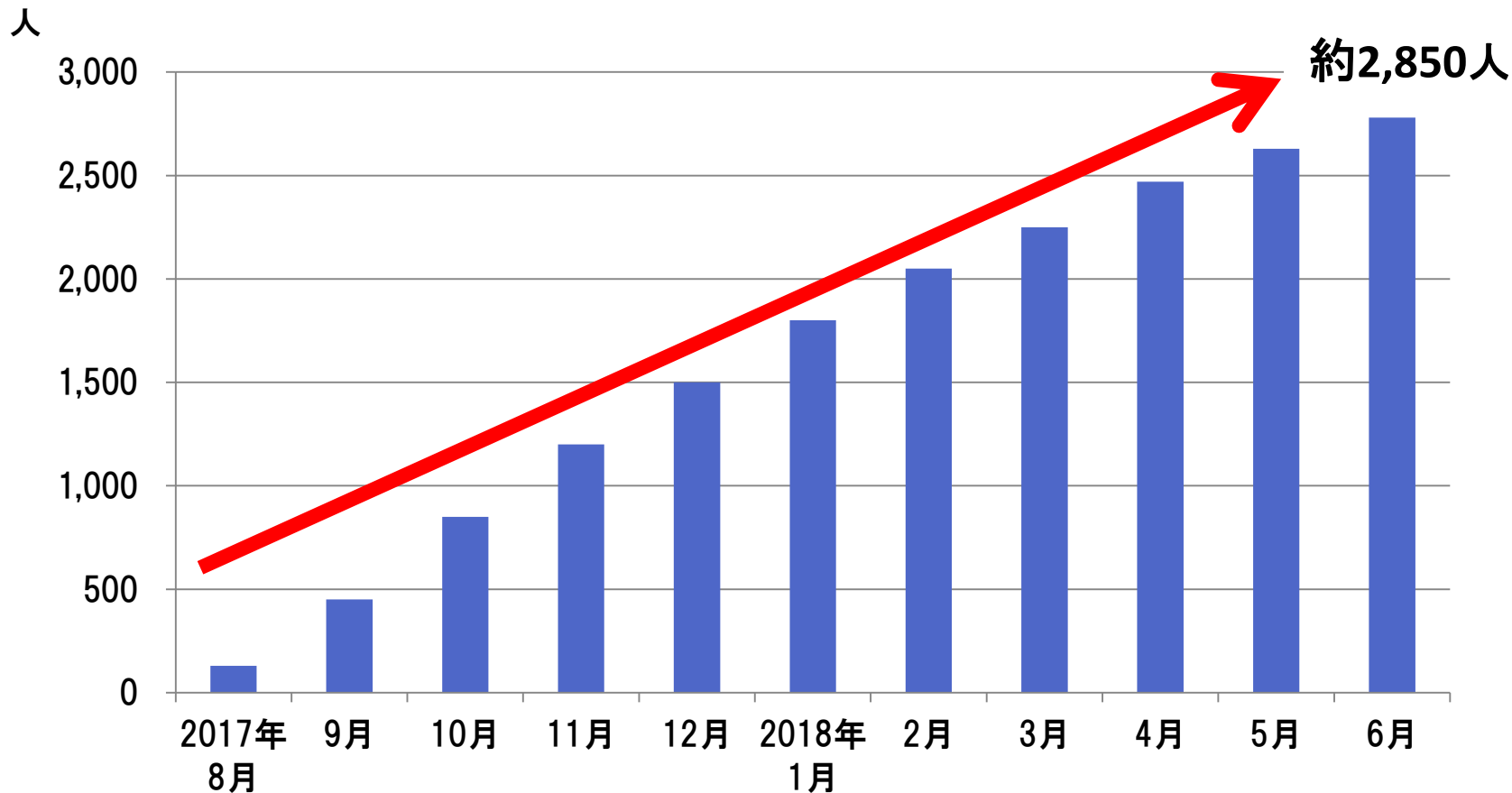
- ◆ ノバルティスの2018年2Q(2018年4-6月)売上高は866百万ドル(前年同期 837百万ドル)
- ◆ 当社2018年度1Q(2018年4-6月)のロイヤリティ収入は153億円



インヴォカナ・インヴォカメット

- ◆ J&Jの2018年2Q(2018年4-6月)売上高は215百万ドル(前年同期 295百万ドル)
- ◆ 当社2018年度1Q(2018年4-6月)のロイヤリティ収入は24億円





2018年4月～6月
2018年6月末時点

売上高 64億円
累計投与患者数 約2,850人
継続投与患者数 約2,000人

赤字:2017年度決算発表以降の進捗

フェーズ1試験

フェーズ2試験

フェーズ3試験

申請

承認

- MT-2990
炎症・自己免疫疾患等
- MP-124
神経系用剤
- ND0701
パーキンソン病
- MT-1186
筋萎縮性側索硬化症
(新投与経路)
- MT-7529
インフルエンザ[H7N9]予防
- MT-5625
ロタウイルス胃腸炎の予防
- GB-1057
血液及び体液用剤
- MT-0814
眼科用剤
- MT-4129
循環器官用剤等
- MT-2765 *1
循環器官用剤等

- MT-1303
多発性硬化症、乾癬(欧州)
クローン病(日本、欧州)
- MT-7117
赤芽球性プロトポルフィリン症
(米国)
- MP-513
2型糖尿病(欧州)
- MT-3995
糖尿病性腎症(日本、欧州)
非アルコール性脂肪性肝炎(日本)
- MT-8554
糖尿病性末梢神経障害に伴う疼痛
(欧州)
更年期に伴う血管運動神経症状
(米国)
- ND0612
パーキンソン病(米国、欧州)
- MT-8972
インフルエンザ[H5N1]の予防
(カナダ)

- MT-5547
変形性関節症(日本)
- カナグル
糖尿病性腎症
(国際共同治験)*2
- MP-513
2型糖尿病(中国)
- MT-6548
腎性貧血(日本)
- MT-5199
遅発性ジスキネジア(日本)
- MT-2355
5種混合ワクチン(4混+Hib)
(日本)*3
- MT-2271
季節性インフルエンザの予防
(米国、欧州、カナダ他)

- TA-7284
2型糖尿病(インドネシア)
- MP-513
2型糖尿病(インドネシア)
- MCI-186
筋萎縮性側索硬化症
(スイス、カナダ、欧州)
- MP-214
統合失調症
(韓国、台湾、シンガポール)
- バリキサ
小児・臓器移植における
サイトメガロウイルス
感染症の発症抑制(日本)

- ジュブリア
爪白癬(台湾)

主な導出品 (フェーズ3以降)

フェーズ3

- TA-7284
糖尿病性腎症
(国際共同治験)*2
- MT-210
統合失調症(米国、欧州)
- MT-4580
副甲状腺がんおよび原発性
副甲状腺機能亢進症における
高カルシウム血症(日本)

承認

- FTY720
小児・多発性硬化症(米国)

申請

- FTY720
小児・多発性硬化症(欧州)
- TA-7284
心血管疾患の既往がある、または
心血管疾患リスクがある2型糖尿病に
おける死亡リスク低減
(CANVAS/CANVAS-R)(米国、欧州)

*1:上海医薬集団(中)と共同研究

*2:治験依頼者:ヤンセンリサーチ アンド デベロップメント

*3:阪大微生物病研究会(日)と共同開発

注意事項

本資料に記載した一切の記述内容は、現時点での入手可能な情報に基づき、一部主観的前提をおいて合理的に判断したものであり、将来の結果はさまざまな要素により大きく異なる可能性がありますので、ご了承ください。